



2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月9日

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

上場取引所 東

コード番号 6093 URL <http://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 英明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 2020年10月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	1,579	0.1	286	46.4	336	74.4	221	71.3
2020年2月期第2四半期	1,581	1.6	195	8.3	193	12.6	129	24.0

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 256百万円 (97.7%) 2020年2月期第2四半期 129百万円 (23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	5.28	5.23
2020年2月期第2四半期	3.12	3.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	3,633	3,016	83.0	69.66
2020年2月期	3,311	2,665	80.2	64.29

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 3,016百万円 2020年2月期 2,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		3.50	3.50
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,482	8.7	489	12.8	490	10.7	323	12.6	7.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	45,597,183 株	2020年2月期	42,521,884 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	2,290,835 株	2020年2月期	1,226,852 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	42,044,676 株	2020年2月期2Q	41,485,461 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.41「当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言が発令された4～5月の景気の落ち込みから、経済活動の制限は徐々に緩和され、持ち直しの動きがみられるものの、今後の感染状況が内外経済に与える影響を注視する必要があります。

このような状況下、当社グループは、政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関わる要請に応じ、テレワークや時差出勤などを積極的に取り入れながら、社内外への感染防止と従業員の健康と安全の確保を図り、クライアントのニーズに応えるべく企業活動を続けてまいりました。また、業務プロセスの自動化による業務負荷軽減や、金融機関等におけるシステム安全対策基準に準拠した新たな共通プラットフォームの構築等、次なる成長に向けた基盤整備を進めております。

当第2四半期連結累計期間の事業活動においては、不動産オークション事業が低調となったものの、エスクローサービス事業が堅調に推移いたしました。また、業務の効率化を推進して人件費の削減に努めたほか、投資事業組合運用益により、営業利益および経常利益、四半期純利益はいずれも前年同期比で増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,579,656千円（前年同期比0.1%減）、営業利益は286,911千円（前年同期比46.4%増）、営業外収益に投資事業組合運用益49,807千円を計上したことにより経常利益は336,694千円（前年同期比74.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は221,785千円（前年同期比71.3%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当社グループの業績への影響は限定的となりましたが、今後の感染状況次第では、第3四半期以降の当社グループの業績に与える影響として顕在化する可能性があります。またその一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、キャッシュレス等の非対面サービスへの関心が高まっている背景から、当社グループが提供するサービスへの引き合いが増加しております。マーケットニーズを的確に捉え、より良いサービスを構築し社会的課題の解決に貢献できるよう努めてまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業においては、不動産取引に係る司法書士をはじめとした専門家、金融機関、不動産事業者に対し、取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与するASPサービス等の各種支援システムの提供を通じて、業務の効率化を提案しております。また株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託での信託サービス、相続手続き代行サービスでは信託口座の利用による決済の安全確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大で、生活におけるデジタル活用が急速に進展し、個人のインターネットの利用が拡大するなか、ネット銀行からの案件が増加いたしました。

また、非対面決済サービス「H'OURS（アワーズ）」についても前年と比較して利用件数が大幅に増加し、今後も大手取引先によるH'OURSを活用したキャッシュレスサービスの展開拡大に伴う受注拡大が見込まれております。

信託事業についても、新規案件の増加により信託報酬が増加したほか、相続手続き代行サービスについても地方銀行や信用金庫からの受注が増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は494,775千円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益は388,950千円（前年同期比15.6%増）となりました。

(BPO事業)

BPO事業においては、金融機関における住宅ローン融資に係る事務の受託をはじめとした、金融機関等の業務上の課題を解決するための事務合理化及びコスト節減ニーズに応じたサービスの提供をしております。また、子会社の株式会社中央グループでは、建築設計サービスや不動産鑑定サービス、連携する司法書士、土地家屋調査士等の専門家への業務支援や、建設事業者向けに様々なコンサルティングサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社の株式会社中央グループにおける専門家支援業務が全体的に減少傾向で推移した一方、単体の不動産・建設事業者向けサービスにおいて新規取引先からの受注が伸びました。

以上の結果、セグメント売上高は941,820千円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は191,065千円（前年同期比0.5%減）となりました。

(不動産オークション事業)

不動産オークション事業においては、主に税理士等の専門家からの依頼に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産取引の機会の場を提供しております。これにより売買後のトラブルや紛争を未然に回避することができ、取引価格については入札方式を採用することによって、透明性の高い価格形成が可能となり、不動産取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業活動が制限されたことで案件進捗に遅れが生じ、オークションによる決済は低調な推移となりました。

以上の結果、セグメント売上高は143,059千円(前年同期比32.0%減)、セグメント利益は23,830千円(前年同期比26.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,936,816千円となり、前連結会計年度末と比較して240,767千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が306,450千円増加したことによるものであります。固定資産は696,531千円となり、前連結会計年度末と比較して81,084千円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産が19,406千円減少した一方、保有する投資有価証券の時価が上昇したことにより投資有価証券が93,919千円増加したこと、またソフトウェア開発に係るソフトウェア仮勘定の計上が39,019千円あったことによるものであります。

以上の結果、総資産は3,633,348千円となり、前連結会計年度末と比較して321,852千円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は480,849千円となり、前連結会計年度末と比較して29,498千円の減少となりました。これは主に、買掛金が24,506千円減少したことによるものであります。固定負債は135,592千円となり、前連結会計年度末と比較して325千円の減少となりました。

以上の結果、負債合計は616,442千円となり、前連結会計年度末と比較して29,824千円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,016,906千円となり、前連結会計年度末と比較して351,676千円の増加となりました。これは主に、自己株式の取得が194,682千円、剰余金の配当が144,532千円あった一方、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬の付与による新株発行により資本金が222,417千円、資本準備金が222,417千円増加したこと、その他有価証券評価差額金が34,436千円増加したこと、また親会社株主に帰属する四半期純利益が221,785千円であったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は83.0%(前連結会計年度末は80.2%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,438,110千円となり、前第2四半期連結会計期間末残高と比較して614,618千円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローの収入は267,136千円(前年同期は230,066千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益336,694千円があった一方で、法人税等の支払額73,105千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローの収入は67,470千円(前年同期は10,779千円の支出)となりました。これは主に、信託預金の解約による収入100,000千円があった一方で、無形固定資産の取得による支出38,483千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローの収入は71,244千円(前年同期は508,145千円の支出)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入418,770千円があった一方で、自己株式の取得による支出194,682千円、配当金の支払額144,348千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結通期業績予想につきましては、2020年4月9日公表の「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,235,059	2,541,510
売掛金	371,978	332,193
その他	90,812	64,685
貸倒引当金	△1,802	△1,572
流動資産合計	2,696,048	2,936,816
固定資産		
有形固定資産	101,121	91,589
無形固定資産	144,006	160,576
投資その他の資産	370,319	444,365
固定資産合計	615,447	696,531
資産合計	3,311,495	3,633,348
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,560	90,053
未払法人税等	103,144	123,987
賞与引当金	50,316	48,928
その他	242,326	217,879
流動負債合計	510,348	480,849
固定負債		
資産除去債務	34,622	34,622
退職給付に係る負債	35,976	36,679
その他	65,319	64,290
固定負債合計	135,918	135,592
負債合計	646,266	616,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,379	644,797
資本剰余金	537,219	759,637
利益剰余金	2,048,518	2,125,771
自己株式	△353,589	△548,271
株主資本合計	2,654,528	2,981,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	296	34,733
その他の包括利益累計額合計	296	34,733
新株予約権	10,404	238
純資産合計	2,665,229	3,016,906
負債純資産合計	3,311,495	3,633,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	1,581,488	1,579,656
売上原価	828,774	821,029
売上総利益	752,714	758,626
販売費及び一般管理費	556,716	471,715
営業利益	195,997	286,911
営業外収益		
受取利息	131	18
受取賃貸料	9,084	7,920
投資事業組合運用益	—	49,807
その他	1,281	1,158
営業外収益合計	10,496	58,903
営業外費用		
支払利息	140	84
賃貸費用	8,076	6,662
投資事業組合運用損	4,983	—
株式交付費	161	1,698
その他	101	673
営業外費用合計	13,463	9,120
経常利益	193,031	336,694
税金等調整前四半期純利益	193,031	336,694
法人税、住民税及び事業税	72,247	108,647
法人税等調整額	△8,657	6,261
法人税等合計	63,590	114,908
四半期純利益	129,440	221,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,440	221,785

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	129,440	221,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	34,436
その他の包括利益合計	132	34,436
四半期包括利益	129,572	256,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,572	256,222
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	193,031	336,694
減価償却費	34,389	32,605
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	266	△229
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,134	△1,388
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,978	703
受取利息	△131	△18
支払利息	140	84
株式報酬費用	7,255	4,523
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,020	39,784
投資事業組合運用損益 (△は益)	4,983	△49,807
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,773	25,748
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,153	△24,506
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,761	△6,537
未収入金の増減額 (△は増加)	9,320	1,613
未払金の増減額 (△は減少)	15,448	△18,456
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,049	△1,570
その他	8,013	1,067
小計	286,763	340,311
利息の受取額	125	15
利息の支払額	△140	△84
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△56,682	△73,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,066	267,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△584	—
無形固定資産の取得による支出	△3,929	△38,483
定期預金の払戻による収入	100,000	—
定期預金の預入による支出	△100,900	△600
信託預金の解約による収入	—	100,000
投資事業組合からの分配による収入	—	5,483
預り敷金及び保証金の返還による支出	△5,040	—
預り敷金及び保証金の受入による収入	—	1,440
その他	△325	△370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,779	67,470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△353,091	△194,682
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	418,770
配当金の支払額	△148,088	△144,348
リース債務の返済による支出	△6,891	△6,876
その他	△75	△1,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△508,145	71,244
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,859	405,850
現金及び現金同等物の期首残高	2,112,350	2,032,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,823,491	2,438,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月16日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月17日から2020年6月4日までに自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が194,682千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が548,271千円となっております。

また、新株予約権の行使に伴い、資本金および資本剰余金がそれぞれ222,417千円増加した結果、資本金が644,797千円、資本剰余金が759,637千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オーク ション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	432,183	938,812	210,492	1,581,488	—	1,581,488
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	432,183	938,812	210,492	1,581,488	—	1,581,488
セグメント利益	336,347	192,030	32,274	560,652	△364,654	195,997

- (注) 1. セグメント利益の調整額△364,654千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オーク ション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	494,775	941,820	143,059	1,579,656	—	1,579,656
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	494,775	941,820	143,059	1,579,656	—	1,579,656
セグメント利益	388,950	191,065	23,830	603,846	△316,935	286,911

- (注) 1. セグメント利益の調整額△316,935千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。